



ごあいさつ

会長 昭和四十四年卒 西村(平田)曜子



同窓生の皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。お伺い申し上げます。

今年は元日から能登半島地震の衝撃的な年明けとなりました。近年は大規模な災害が国内外で頻発し、被災されました方々に心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の日も早い復興を願っております。

さて、華頂学園同窓生の現在の会員数は32294名登録されております。(旧職員の方々も含みます)何年か前に会報発送時に、今後も発送希望、今後は発送不要の選択をしてもらい返信していただいたのですが、そのどちらでもない方が大勢いらつしやいます。名簿の整理をする意味でも、今年度は以前のように全卒業生に発送することに致しました。改めて会報発送要・不要のお返事をいただきます

すよう宜しくお願い致します。

返信用のハガキの近況欄には、皆様が華頂で過ごされた思い出のエピソードがよく書かれています。いつも微笑ましく拝見しております。

私事で恐縮ですが、私と華頂のご縁は、幼稚園時に丁度学校の近くに引越してきた時から始まります。

「勢至丸様おはようございませ」と手を合わせ登園した頃が懐かしいです。その後華頂中学に導かれるように入学し、高校へと進みました。

大学は他大学へ行きましたが教育実習ではお世話になりました。その後家が近いことから庶務のお手伝いをしたり、少しの間代用教員もしました。そして今は同窓会の会長までさせていただき、まだまだこのご縁は続きそうです。最初はたまたま偶然だったことが今となっては全て必然だったように思えてなりません。

お世話になった分、少しずつ恩返しをしたいと思うっております。

皆様ともこうして結ばれたご縁です。これからも一緒に同窓の喜び

令和6年度 同窓会総会のご案内

- 日時

令和6年11月4日(振替休日)
受付 10時30分～
総会：11時～(総会后記念写真撮影)
懇親会：12時～
- 会場

都ホテル京都八条
京都駅八条口南 TEL：075-661-7111
- 第一部

総会
議事 ・令和5年度決算、令和6年度予算
・会務報告、役員改選 その他
- 第二部

懇親会 ・趣味のサロンより10名の合奏
清興「箏曲」 ・琴 三絃二重奏
琴 北澤宏枝(平成4年卒)／三絃 今堀朱美(昭和60年卒)
- 会費

10,000円(写真代を含む)
※9月28日(土)までに下記口座にお振込み下さい。
(ゆうちょ銀行：口座番号 01010-1-81465 華頂学園同窓会)

を分かち合いたいと思います。
時代の流れは早いです。同窓会も若い世代の方のお力を借りなければとても時代の波に乗っていきません。どうか同窓会運営にご理解をいただき、ご助力賜りますようお願い申し上げます。

上げます。



発行所 華頂学園同窓会
〒605-0062
京都市東山区林下町 3-456
華頂女子高等学校内
URL <https://www.kacho.ed.jp/>
TEL / FAX 075(525)2522

お願い

- ・住所変更などは同封のハガキまたはFAXでお知らせください。
- ・ご意見や原稿の投稿などは華頂学園同窓会宛にお願い致します。
- ・現姓、旧姓、卒業年、クラスなどもお書き下さい。

編集兼発行人 西村曜子

会務報告

- 令和五年九月～令和六年九月上旬
- 9月上旬 五年度の会報発送
- 10月 秋期「趣味のサロン」開講
- 10・21 役員会
- 11・5 (総会について)
- 11・15 令和五年度同窓会総会(都ホテル京都八条にて)
- 11・25 先亡追悼会に参列
- 11・25 役員会
- 11・25 (総会の反省、今後の予定)
- 1・20 懇親会
- 1・20 (祇園青冥にて)
- 2・24 役員会
- 2・24 (次年度について)
- 3・1 高校卒業式に参列
- 3・1 (卒業記念品授与)
- 4月 春期「趣味のサロン」開講
- 4・6 高校入学式に参列
- 4・6 役員会
- 4・20 (会報、東京支部会、総会、趣味のサロンについて)
- 5・25 懇親会
- 5・25 (ザ・サウザンド京都にて)
- 6・16 東京支部会
- 6・29 役員会
- 6・29 (会報、決算報告、予算案、総会について)
- 7・8月 六年度会報作成作業
- 8月下旬 六年度会報の納品を受ける

ご挨拶

校長 前田 千秋



同窓会会員の皆さまには、ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃は本校の運営のために格別のご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

学校での私の朝は、窓を開け、まず机を拭くところから始め、パソコンを起動させて受信トレイをチェックした後、校門で生徒たちを迎えます。

早く登校してくる生徒は私より先に校門を通りぬけているはずですが、歩いている私の前に生徒の姿が見えたときは、早足で追いかけて行き、「早いね!」と声をかけるようにしています。そんなところで負けん気出してどうするのと自分でもおかしいのですが、東山中高の校長をお務めになられ、先年お亡くなりになられた山崎宏賢先生が「そういう時は必ず追い抜く!」と仰つていたのを思い出し、山崎先生のひそみに倣つて、その時だけは倍速で歩いています。

校門に立つておりますと生徒達だけではなく本当にいろいろな方にお目にかかります。本山・宗務ご関係の方々、犬を連れてご近所の方、内外の観光客、華頂幼稚園に登園する園児とその保護者の方など、一日として同じ日はなく、何度もお目にかかつてすっかり顔なじみになった方もおられますし、観光で来られ、その日だけのご縁の方もおら

れるのですが、日本の方にも外国の方にもほぼ全ての方に挨拶をするようにしています。知らない人間から声をかけられて驚かれる方もあるのだろうなと思うのですが、大抵の方が笑顔で挨拶を返して下さり、そのお声に毎日のエネルギーをいただいている気持ちになつています。先日は外国の方に挨拶をしたところ、Good morning, Sir!と中学一年の教科書で教わつて以来、実際に耳にしたことのないフラーズでご挨拶いただき、恐縮したこともありました。

そんなある日、女性の方から声をかけていただきました。聞けばお母様が旧制の華頂高等女学校をご卒業とのこと。何年のご卒業ですかとお尋ねすると、昭和十九年とのことでした。それはご縁のある方にお目にかかれて嬉しゅうございますとしばし立ち話をするうち、お母様はお元気でいらつしやいますかと尋ねますと、「実は最近体調を崩し、長くてあと一週間と言われております」と仰いましたので驚き、とつきの思い付きで、「実は学校に学んでおられた方の記録というのは国が保管期間を定めており、長くて二十年です。ただ本校は明治の創立以来の生徒さんの記録をほぼ全て廃棄せずに残してあります。どこまで残っているかわかりませんが、高等女学校時代のお母様のことを少しでもお伝えできればと思いますので少しお時間を下さい。」と申し上げ、その場はお別れいたしました。とはいものの、手掛かりはお聞きした旧姓と昭和十九年ご卒業という点です。早速その日の夕方、学校の古い記録の残る場所に潜り込み、埃っぽい資料を探しました。ご連絡先をお聞きしているわけでもありませんし、何より「長くて何日間」と伺つたことから、何とか早く、ご本人にお伝えで

きるものを見つけねばと、急ぐ気持ちであちこちを探しました。

そして二、三日後再び校門前でお目にかかった時に、旧姓のフルネームと、当時お住まいになっておられたご住所が私の見つけたものと合致していたことから「本人確認」ができ、それによつて簡単な印刷物を作りました。

事情により、往時の資料そのもののコピーをお渡しするわけにはまいりませんので、お母様の記憶を呼び起こすことにつながるような内容(当時の先生方が書き記しておられた事柄)を何項目かに分けてまとめ、それを、(昭和二年のお生まれですから、おそらく既に目もご不自由であろうと考えましたので)大きなサイズのフォントで印刷して学校の封筒に入れ、お渡しすることができました。

そして、その数日後、校門前で驚くようなお話を伺うことができました。今回のことが直接的なきっかけになつたかどうかはわかりませんが、「長くて何日」とお聞きしていたお母様が体調を回復されてまた普段の生活に戻られたということ、そして私がまとめたメモを(目がほとんど見えなくなつていたために、読んで差し上げたとのことですが)殊のほか喜んで下さつたとのこと、指導を受けた先生の名前や学校生活のこととも思い出され、ご家族の方に話されたということをお聞かせ下さつたのです。メモの入った本校の封筒を胸の前で抱いてくださつている写真も見せていただくことができました。

本年も新しい先生方を多くお迎えし、職員室も明るい雰囲気満ちています。教職員一同今後も精進を重ね、教育に邁進して参りますので、変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学園現況

副校長 安達 浩士

新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行されたことに伴い、昨年度は学校生活においてもようやくコロナ禍前と同様の学校行事を実施することができました。

今年度1学期の主な行事として、2年生が5月27日から30日まで北海道への3泊4日の修学旅行に行きました。また、5月2日に大学の体育館で開催した球技大会では多くの保護者の方が見学に来られ熱い声援を送られていました。

さて、今年度も多くの新入生が*ファミリー推薦を利用して入学しました。とてもありがたいかと思つています。6月1日に実施した第1回オープンスクールでは新入生の約20%の生徒が、受験生・保護者のキャンパスツアー等に協力してくれました。これは、「自分たちが中学生の時に華頂の先輩方から受けた好印象を、今度は私たちが」の思いからくるものだと思います。入学生は保護者・生徒に実施したアンケートでは、本校を進学先に選んだ理由で、毎年「オープンスクールや入試説明会での印象がよかった」が1位になつているのは大変すばらしいことだと思つています。

昨年度の卒業生の進路先は、法人内の3大学(京都華頂大学・華頂短期大

学・佛教大学)へ進学した生徒が約40%、指定校推薦を利用した生徒を合わせると約60%となりました。また、毎年ほぼ全員が年内に進路先を確保していることも大きな特色となっています。

次に、教員の異動について専任・常勤(契約教員)の先生方について、お知らせいたします。昨年度末をもつて、平祐世先生(仏教科)、森下千賀子先生(国語科)、片山晴佳先生(国語科)、大澤実希子先生(地歴公民科)、笠井超彦先生(英語科)、森田美緒先生(保健体育科)が退任されました。平祐世先生は31年間に渡り特に本校の仏教教育の発展にご尽力いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。なお、片山晴佳先生は本年4月から非常勤講師として引き続きご勤務いただいております。

また、本年4月から専任教員として、日比野徹太先生(仏教科)、高倉瑞穂先生(国語科)、契約教員(常勤)として、山田加南子先生(国語科)、矢島真一先生(地歴公民科)、池田おかり先生(情報科)、伊藤直也先生(保健体育科)にご勤務いただいております。

最後に、日々母校をお氣にかけていただいている皆様に心より感謝いたしますと共に、今後もご支援・ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。

*ファミリー推薦・受験生の四親等以内の親族が、華頂女子中学校・華頂女子高等学校・京都華頂大学・華頂短期大学・華頂短期大学附属幼稚園及び華頂高等女学校等の旧制諸学校を卒業卒園、もしくは在学在園の場合にこの制度を利用して受験ができ、入学金(90,000円)が免除されます。



令和五年度 同窓会総会 報告

副会長 昭和五十一年卒 市川（馬場）宜子

11月5日（日）都ホテル京都八条にて総会を開催することが出来ました。

西村曜子会長の挨拶、校歌斉唱、学校長前田千秋先生よりお言葉を戴き、会計報告・監査報告・会務報告と議事は滞りなく終了致しました。ご参加下さいました皆様全員で記念撮影を終え副校長の安達浩士先生に乾杯の音頭をお願いし懇親会がスタートしました。

各テーブル毎に話題が豊富でいろいろな情報交換やなつかしい学校生活の思い出話に和やかな空気が色となりました。

今回の清興では昭和57年音楽科卒業の水野ゆりか様のフルート演奏、同年音楽科卒業の上田眞由美様のピアノ伴奏によります『フルートと共に』でした。美しく響く柔らかい音色のフルートの演奏、優しくもあり力強いピアノ伴奏、この2つの合奏が合わりステキな音楽を創り上げてくださり、感動の渦に包まれました。クラシックから皆様よくご存知の楽曲『日本の秋メドレー』『上を向いて歩こう』『川の流れるように』が次々と流れると誰もが気持ち良きそうに口ずさまれ会場全体が癒し空間となりました。

演奏者と聴き手が一体となれた素晴らしい演奏会をどうもありがとうございました。これからもますますのご活躍をお祈り致します。

又、当日総会に出席頂いた平成28年卒の小野雅代様は明治国際医療大学にて鍼灸について学ばれ、現在は姫路で『実はおもしろい鍼灸治療』として活躍されています。お話の後には私たちの質問にも丁寧にご答えくださいました。

令和6年度同窓会総会は今秋の11月4日開催予定です。（振替休日）

お一人でも多くの方々にご参加して

いただけますよう心よりお待ち申し上げます。



東京支部より

昭和四十二年卒

桑江（中西）日出子

今年度は銀座数寄屋橋の三笠會館の揚州名菜秦淮春で、東京支部の総会をさせて頂きました。コロナ以降、支部の人数もぐつと減り、総会自体も開く事が出来るのか、確信できず案じておりました。校長先生始め、西村会長さんの助言も頂き、少人数ながらも開催させて頂き、やつて良かったと安堵しております。又校長先生始め、西村会長さん達も快く来て下さり、有意義なお話も伺うことができ、感謝致しております。来年からは若い人達にも入って頂き、活気を取り戻し、新たに活動できればと考えております。



九州支部より

九州支部会は今年開催する予定でありましたが、幹事さんの体調不良で実現することが出来ませんでした。

来年こそは皆様にお目にかかれることと思います。

どうか皆様もご自愛下さいまして、来年お元気なお顔を拝見できますよう心待ちにしております。



卒業後半世紀経てのクラス会

昭和四十八年卒

中藤（猪田）成子
川内（西川）順子
坂崎（谷川）浩子
村上（狭間）寿美代

第3回「昭和48年卒3年7組クラス会」を、卒業後51年になる今年5月24日ホテルザ・サウザンド京都で開催することができました。二年前企画をして案内の葉書まで投函しましたが、コロナが猛威をふるい断念せざるを得ませんでした。ですから前回

東京支部同窓会に参加して

昭和四十七年卒 吉田（伊勢谷）和都子

一年前までの私は年に一度送られてくる同窓会報を読んでは、ノスタルジックな思いと恩師の事を思い出しては懐かしむだけでした。

昨年、初めて総会に出席して母校への思いが大きくなり、今年度から同窓会の運営に関わらせていただく事になりました。そして6月16日開催の東京支部同窓会にも参加する事になり、とても楽しみにしていました。

一年前に望んでいた事が二つ実現した事も嬉しい事でした。母校ともう一度接点を持ちたい。東京に行きたい。この二つです。

東京は在職中に月に一度出張し、退職後も頻繁に出かけては友人や知人と過ごす大切な私の居場所だったからです。令和2年1月に行つた後はコロナ禍ですっかり縁遠くなつてしまい、行く

（平成25年3月）から11年ぶりの開催にひとしおの喜びを感じます。

私たちも古希を迎え、いよいよ老いを自覚する年齢となりましたが、何よりも担任の廣小路先生が杖をつきながらもお元気でご出席いただいたことに喜びと感謝しかありません。今回は15名の出席でしたが、それぞれのエピソード、先生との思い出などを、先生は温かい目で聞いていただき、51年前の、和気あいあいとした活気あふれる3年7組の教室そのものでした。

高校生活三年間、毎朝の教室朝礼・講堂での音楽法要などでうけた教養は、知らず知らずに香りのように50年以上経つた今も、体に染みついております。校訓「和顔愛語」、この深い意味を

きつかけもない状態のなかで東京支部同窓会に参加するという機会に恵まれ実現しました。

当日は少し緊張しながらでしたが、桑江支部長さんをはじめ東京支部の方々に温かく迎えていただき楽しい時間を過ごさせていただきました。

初対面の方々ばかりなのに同窓生と言う事もあり会話が弾み笑顔が絶えない皆さんに温かくて嬉しい時間をいただきました。皆さんが素敵に年を重ねられ生き生きとされている事に私もこうありたいという思いで元気をいただきました。

とても温かく優しく迎えてくださり、良い思い出ができました事を感謝しております。

またお会いできる日を楽しみにしています。ありがとうございました。

今でこそ深く理解することが出来ます。

これからの人生を元気で楽しくご縁を大切に過ごして行きたいと一同思っております。



退職のご挨拶

宗教科・社会科
平 祐世

今年3月に卒業された卒業生の皆様、新しい環境での生活にも少しずつ慣れてこられた頃ではないでしょうか。皆様の今後の発展を心から期待しております。私も31年間勤務させて頂いた華頂女子高等学校を今年の3月末日をもって退職し、自坊の住職に専念する新生活を歩みだしています。

在職中は保護者の皆様、卒業生や在校生の皆様をはじめ、多くの方々のお力添えや励ましの言葉をいただき、何とか職務を果たすことができたこと感謝しております。平成5年4月に華頂女子高等学校に就職して以来30年余りの歳月は瞬く間に過ぎ去ったように感じています。

宗教科教諭として主に仏教の授業を担当し、社会科の授業も担当させて頂きました。高校生にとっては、仏教は馴染みがなく、日常生活でもあまり関わりがないものです。その仏教を高校生が理解できるように、どのように伝えればよいか？ということが長年のテーマでした。残念ながら、明確な答えは未だに見つかっていません。しかし、生徒との関わりの中で、「わかった」「わかりやすい」「興味を持つようになった」等の言葉が、授業の原動力になったことは確かなことです。他の業務に追われ、忙しく疲れていても、授業をする上での励みになりました。

振り返れば、多くの生徒との関わりが在職中でも財産になりました。卒業後も多くの卒業生が学校を訪れ、在校生時代の思い出を語ってくれました。中でも知恩院での授戒会の話をよく聞きます。「足が痛くてしんどかった。もう

二度としたくない。」よく聞いた言葉です。しかし、「貴重な経験ができた。」「臨下講話が楽しかった。」「(大方丈などの)見学が楽しかった。」「(御影堂の)屋根修理の工事現場の見学は、今でも憶えている。」「祝膳がおいしかった。」「この前知恩院に参拝して、懐かしかった。」「今でも一枚起請文を言うことができる。」「つい聖歌を口ずさんでしまう。」「など宗教行事の経験や授業のことが、卒業後も心の中に残っていることは大変嬉しく、仕事のやりがいやモチベーションになりました。

近頃、10代の青少年が命を失う事件を耳にします。多くの事件や事故はSNSが関連しているようです。学校教育でもICT化が進み、タブレット端末を使用した授業も高校生にまで広がってきました。世界的には企業によるAIの活用の動きが本格化しています。情報化社会の中で、年々情報量が増加しています。現在の高校生は膨大な情報に対して、消化不良を起こしているようにも見えます。人々はAIによって自分好みに選別された情報が提供され、SNS上のコメントや評価の影響力は看過できなくなってきました。自分自身に対する否定的な評価や情報は、些細なことであつても精神的に大きなダメージを与えることになります。そのようなことが、命を失う事件と関連しているのかもしれない。

学校は人を育む教育の場です。私も長年、生徒の教育や指導に携わってきたつもりでしたが、実は多くの生徒から様々なことを学ばせていただきました。何よりも生徒との関わりを通じた生き言葉が、教員生活の力となり、支えになったと感激しています。良い授業を受けることにより、生徒は学習や学校生活への意欲が高まります。生徒と

教員が相互に良い循環を生み、生徒と教員が互いに成長できる場であることが、学校に大切なことだと思います。その意味でも、情報化が進む社会において、生徒が相互に、生徒と教員が現実空間で交流できる場である学校は今後さらに重要な場になると思います。

社会の情報化により、学校の学びの在り方も今後大きく変化していくと思われまます。さらに少子化の進行、教職員の人手不足、目に見えない多くの業務等、学校の状況は従来よりも厳しくなることが予測されます。卒業生の皆様には、現在の学校を取り巻く状況をご理解いただき、今後とも本校にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。教職員の皆様には、これからも生徒との対話やコミュニケーションを大切にして、生徒と教員が相互に成長できる学校づくりを進められていくことを願っております。

卒業生の皆様、教職員の皆様方のご健康と二層のご発展を祈念申し上げます。退職のご挨拶とさせていただきます。

拾井司雄先生を 偲んで

昭和四十五年卒
藤田(有田)光子

国語の先生でもあり進路指導もされていました。進路指導室でソファの肘置きに片腕を乗せ足を組んで座っておられる先生を思い出します。色白で太陽とは無縁のような細くて小柄な先生でした。しなやかな指、お箸以外重い物を持った事がないだろうと、私と同期で先生の助手をしていた堀内(上田)寿代さんと良い意味で話題にしていま

した。でもご任職のお仕事もしておられました。

私は学生時代、先生の授業を一度も受けた事がありませんでした。私の担任は国語の西田薫先生だったからです。

進路の相談に初めて指導室に行くところ、ソファに座っておられました。私は緊張しながら座ると「銀行はどうか」と言われました。家に帰り両親に相談すると父は反対しました。大学を出て銀行で働いている従兄弟から暮になると残業で遅くなるので大変だと父は聞いていたのです。それで先生に銀行は断りました。

すると「華頂に就職するか」と聞かれました。本当にびつくりした事を昨日の事のように思い出します。

私の華頂での人生が始まりました。就職してからは心配を色々おかけしたと思いますが先生はずっと黙って見守ってくださいました。ありがとうござい

ました。退職してからも同窓会、樟樹会(華頂退職者の会)にと華頂と共に歩んできました。拾井先生に「華頂はどうか」と言われてから今も華頂と関わり続け愛し続けています。

先生のご冥福をお祈りいたします。

中野愿子先生を 偲んで

昭和五十年卒
岡本(玉木)雅子

中野先生、いつも笑顔を絶やさなかった優しいお顔が今も臉に焼きついています。私は一年生と三年生の時に担任して頂いて、卒業の際に書いて頂いたメッセージに「二年の時に見たあなたは雷に打たれた子羊のようだった。でも三年生になっ

てあなたの背が高いことに驚いた。」と。確かに一年生の時は、デブプリと太つていて…。でもそのようなメルヘンチックな表現をされる中野先生が大好きでした。時が経ち、娘も華頂高校に入学させて頂き、なんと一年生の時の担任が中野先生だったのです！ご縁を感じました。私が高校でお世話になった恩師の先生方もたくさんいて下さり、まるで実家に子供を預けている…そんな想いでもと安心でした。

先生が退職なさる事を娘から聞き、今までの感謝の気持ちで花束をお渡しし、「先生二度クラス会を開きましようか」と申し上げたところ、とても喜んで下さつて、先生自らが同窓会室へ行って名簿をいただいで我が家に届けて下さいました。それ以来、何度かクラス会をしてお食事を共にし、また有志で節目のお祝い会もさせて頂きました。お花がとてもお好きで、記念品は何にしようかとお聞きすると決まつて「花びん」と仰いました。また趣味もたくさんで、短歌、バイオリン、着付けと…特に映画は週一回ほどのペースで観に行かれていたとか。毎日忙しく過ごしている私達にとっては優雅で羨ましい限りでした。

コロナ禍でなかなか皆が揃う事は難しく、2022年10月にお会いしたのが最後になってしまいました。80歳になつて髪を染めるのはもうやめたと綺麗な白髪がとてもお似合いで、上品で素敵な先生のお顔は一生忘れません。

これからも年に二回は有志で集まり、心の中の先生と共に皆で楽しく「教え子の会」を続けていきたいと思つています。

中野愿子先生、今までありがとうございます。ありがとうございました。どうぞ安らかに…ご冥福を心よりお祈りいたします。

コーラス『華凜』 コンサートホールで歌って

昭和五十一年卒 原田(藤野)美枝子

私達コーラス『華凜』は毎月二回木曜日の十一時から十三時まで東山いきいき活動センターで新川和孝先生ご指導の下練習をしています。

コロナ禍以後、発表の場が少なくなり出演の機会を探していたところ、京都コンサートホールで歌える企画があり、狭き門ではありましたが、選出され出演することになりました。しかしインフルエンザ最盛期に入り、体調不良が続出。思うように練習も進まず不安にもなりましたが、本番が近づくともう少しは切り替わり練習にも力が入ってききました。そして当日、私たちは元気でステージに立つことができとても嬉しい一日になりました。これからも次の舞台に向

けて練習に励んでいきたいと思っています。

華凜では仲間を募集しています。「私も歌ってみたい」と思われる方がいらっしやいましたらご連絡ください。二緒に歌いましょう。お待ちしております。



クラス会の報告 及び学年同窓会 のご案内

昭和五十一年卒

野崎(園)眞理子

三月九日に二組のクラス会を西村先生もお迎えして開催しました。皆さんとお会いすると気持ちが一世代の頃に戻ってしまうのが不思議ですね。

この感動を二組だけでなく同学年の皆さんにも共有したいと思います。また「還暦の同窓会」開催から六年経ち、学年同窓会再会希望の声もあり、今回は二組が幹事として「昭和五十一年卒学年同窓会」を開催します!!

今回の開催案内は、華頂学園同窓会

様のご協力を頂き「会報のみの案内」とさせて頂きます。ご了承の程、よろしくお願い申し上げます。

是非、お友達同志お誘い頂きご参加下さいます様、幹事一同お待ちしております。



(ご案内はこちら)

第三十回還暦 記念クラス会

昭和五十七年 音楽科卒

水野(石崎)ゆりか

「佐々木先生、とうとう私達還暦になりました。」クラス会の前に墓前報告に行きました。

令和5年6月25日第30回クラス会を開催。23名のクラス会を三年間担任していただき、卒業後のクラス会にはほぼ出席して下さった佐々木先生のお姿は残念ながらありません。

当時は振り返ると、入試の英技試験受験生が多く長時間待たされ、控室での緊張感も薄れてしまい、話に花を咲かせて主任の河内先生から「やかましい!こんな受験生は初めてや。」と怒られる始末。入学後は先輩方から服装検査をされたり、生徒部の先生から髪型等注意を受けたり、何かと「音楽科の生徒」のイメージを壊してしまいました。三年生のある朝、佐々木先生に「ソフトボールがしたい。」と要望すると、一緒に短大の屋上でおもちゃのバットを握って下さり、その後五時間目まで各教科の先生方を巻き込んでしまった事も...

昭和51年卒 学年同窓会のご案内

日時 2024年11月30日(土)
受付 11時30分～会場 都ホテル京都八条
京都駅八条口南 TEL: 075-661-7111

会費 10,000円

※9月30日(月)までに下記口座へお振込み願います。

氏名の前にクラス番号を忘れずに入れて下さい。

(例: 2ノザキ マリコ)

※出欠は会費の入金で確認させて頂きます。

振込先: ゆうちょ銀行 四六八支店(普)2090880 ノザキ マリコ

幹事 野崎(園) 090-1029-8798
瀬川(明河)、川崎(畑山)、和田

華頂女子中学 同窓会報告

平成元年卒

小田部(小野)訓子

How are you?

ミセス西山が帰国されるらしい、そんな情報を聞いたのは、ちょうど桜が咲き始める頃。友人が先生にSNSでコンタクトを取ってくれたのがきっかけでした。お住まいのオーストラリアから一時帰国されるという連絡を受けた後、集まれる人だけで会おう!と同級生に



でも、悪いことばかりではありません。かるた大会や球技大会の卓球では三年間優勝の記録も出しました。普通科クラスのコーラスコンクール練習にピアノのある教室を貸し、交流を深めたことでもあります。学園祭では初めて「サウンド・オブ・ミュージック」のミュージカルに挑戦。その後の伝統を作りました。そんな私達は、佐々木先生、河内先生、音楽科や教科担当の先生方に本当に温かく見守られ、それぞれの道へ進むことができました。

時は流れ、はや還暦。ケンカしながらも何かする時はまとまる同級生達。音楽活動が続ける方、大学や教室で後進の指導をする方。家業の仕事に勤しむ方、多様な環境で力を発揮しています。自身や家族の病気、介護等の話題も尽きず、やはり「やかましい」バイタリティあふれる華頂の卒業生。

次の古希まで突っ走ることでしよう。

連絡をしているうちに、いつのまにか大規模な会になっていました(笑)

数十年前ぶりに会ったはずの友人たちはみな昔のままで、笑い合うその光景は、まるであの頃に戻ったかのようでした。流石に先生方はあの頃のままだとはいかないけれど(笑) それでも雰囲気は全く変わらず。当時ずっと年上だと思っていた先生が今の私たちより若かった事や、次から次へと出てくるエピソードに浸るうちに、あつという間に時間が過ぎて行きました。締めくくりは私たちがらしく懐かしいあの挨拶で。

グッドモーニングガールズ!
グッドモーニングミセスニヤーマ!
ハウアーユー?

アィムファインセンキューハウアーユー? いろんな経験をして大人になった私たちだけけど中身はあの頃のまま。そんな旧友達と再会でき、急なお誘いにも拘らず集まってくれた先生方と過ごせた時間は本当に幸せなひとときでした。

この会のきっかけを作ってくれた友の『みんな素敵に歳をとり、輝かしかったです。私って素敵な人に囲まれて中学時代を過ごしてたんだなあ...と、改めて思いました。』という言葉が心に深く刺さりました。今はもうなくなってしまうけれど、華頂女子中学という学校に入学し素晴らしい先生方、素敵な仲間達に出会えたことは、本当に私たちの誇りです。またみんなで集まろうね!

シューアゲイン!



2023年度 華頂学園同窓会決算書

(単位:円)

収入の部				支出の部			
項 目	予 算	決 算	差 額	項 目	予 算	決 算	差 額
前年度繰越金	24,922,919	24,922,919	0	総 会 会 合 費	800,000	463,680	336,320
入 会 費・会 費	1,215,000	1,215,000	0	会報発送費(郵送・印刷)	600,000	495,627	104,373
受 取 利 息	2,000	346	1,654	名 簿 管 理 費	150,000	110,000	40,000
賛 助 会 費	400,000	255,000	145,000	印刷費(会報除く)	30,000	0	30,000
趣味のサロン会費	250,000	105,000	145,000	通 信 費	70,000	53,348	16,652
総 会 費 他	600,000	280,000	320,000	卒 業 生 記 念 品 代	60,000	59,697	303
				慶 弔 費	50,000	25,000	25,000
				趣 味 の サ ロ ン	250,000	78,655	171,345
				ホームページ維持費	50,000	0	50,000
				消 耗 品 費・雑 費	15,000	3,215	11,785
				教 育 活 動 費	70,000	60,000	10,000
				予 備 費	100,000	0	100,000
				次 年 度 繰 越 金	25,144,919	25,429,043	△ 284,124
計	27,389,919	26,778,265	611,654	計	27,389,919	26,778,265	611,654

財産目録

種別	項 目	金 額	種別	項 目	金 額
普通預金	滋賀銀行普通預金	3,628,392	定期預金	滋賀銀行定期預金	5,000,000
	りそな銀行普通預金	288,262		りそな銀行定期預金	15,000,000
	ゆうちょ銀行振替口座	1,416,250			
小計		5,332,904	小計		20,000,000
現 金					96,139
合 計					25,429,043

2024年度 華頂学園同窓会予算書

(単位:円)

収入の部				支出の部			
項 目	本年度	前年度	差 額	項 目	本年度	前年度	差 額
前年度繰越金	25,429,043	24,922,919	506,124	総 会 会 合 費	800,000	800,000	0
入 会 費・会 費	1,410,000	1,215,000	195,000	会 報 費 (郵 送 ・ 印 刷)	2,500,000	600,000	1,900,000
受 取 利 息	2,000	2,000	0	名 簿 管 理 費	150,000	150,000	0
賛 助 会 費	400,000	400,000	0	印 刷 費 (会 報 除 く)	30,000	30,000	0
趣味のサロン会費	250,000	250,000	0	通 信 費	70,000	70,000	0
総 会 費 他	600,000	600,000	0	卒 業 生 記 念 品 代	70,000	60,000	10,000
				慶 弔 費	50,000	50,000	0
				趣 味 の サ ロ ン	250,000	250,000	0
				ホームページ維持費	50,000	50,000	0
				消 耗 品 費・雑 費	15,000	15,000	0
				教 育 活 動 支 援 費	70,000	70,000	0
				予 備 費	100,000	100,000	0
				次 年 度 繰 越 金	23,936,043	25,144,919	△ 1,208,876
計	28,091,043	27,389,919	701,124	計	28,091,043	27,389,919	701,124

※ 本年度は数年ぶりに会員の皆様(辞退された方を除く)に会報をお届けすることになりましたので、
【支出の部】の会報費を増額いたしました。

会計監査 高科 弘子 藤田 光子

賛助会費のご協力
ありがとうございました。

令和5年7月～令和6年3月合計245,000円 39名 (敬称略)

(旧職教員)																								(口数)			
井上博嗣																								1	(昭和五十年卒)		
大槻鈴江																								2	(昭和五十年卒)		
(昭和和五十二年卒)																								1	森 眞由美	1	1
(昭和和三十二年卒)																								1	市川 宣子	1	1
小酒井治美																								1	(昭和五十二年卒)	1	1
松川 郁子																								1	太田 眞穂子	1	1
(昭和三十三年卒)																								1	(昭和五十五年卒)	1	1
栗田弘子																								1	前川 洋子	1	1
(昭和和三十四年卒)																								1	(昭和五十七年卒)	1	1
井元優子																								1	川口留美子	1	2
(昭和和三十五年卒)																								2	小磯 幸子	1	2
長久保翠																								2	(昭和六十二年卒)	1	2
高木富美子																								1	神谷照美	1	1
(昭和三十六年卒)																								2	山羽めぐみ	1	1
宮本美代子																								2	植木 美奈子	1	1
(昭和和三十七年卒)																								1	(平成一年卒)	1	1
木羽敦子																								1	米澤 彰子	1	1
(昭和三十八年卒)																								1	神谷 美由紀	1	1
神木秋美																								1	野田 悠紀	1	1
(昭和四十年卒)																								1	(平成二十八年卒)	1	1
吉田千代																								1	本庄恵子	1	1
高科弘子																								1	1	1	1
(昭和四十一年卒)																								1	1	1	1
大室瑞恵																								1	1	1	1
高橋節子																								1	1	1	1
上野富美子																								1	2	1	1
西田和子																								1	1	1	1
(昭和四十四年卒)																								1	4	1	1
西村曜子																								1	4	1	1
榊ヒロ子																								1	4	1	1
(昭和四十五年卒)																								1	1	1	1
藤田光子																								1	1	1	1
(昭和四十六年卒)																								2	1	1	1
有沢小枝																								2	1	1	1
(昭和四十八年卒)																								1	1	1	1
川崎隆子																								1	1	1	1
勤息地香子																								1	1	1	1
(昭和四十九年卒)																								1	1	1	1
足立充子																								1	1	1	1
雅江																								2	1	1	1
ゆうちょ銀行																											
口座番号 01010-1-81465																											
華頂学園同窓会																											

文化祭・体育祭

昨年度より大幅にリニューアルして、生徒たちがやりたいことをする文化祭を今年も行うことになりました。文芸系クラブの発表だけでなく、各クラスの取り組みにも力を入れています。生徒たちが一から各取り組みを考えています。ちなみに昨年は、1年生がそれぞれオリジナルのダンスを考え、ステージで発表してくれました。そして2・3年生がクラスごとにテーマを考えて模擬店を開いてくれました。綿あめやかき氷、タピオカなどの食べ物を提供するクラスや輪投げや射的、お化け屋敷やフотスポットなどの教室を楽しい空間にしてくれるクラスなどがありました。どのクラスも見に来てくれた人を楽しませたいという考えのもと頑張ってくれました。また、保護者会やむつみ会の方も模擬店を開いてくださり文化祭を盛り上げていただきました。体育祭についても、昨年は久しぶりに3学年そろって開催することができました。今後も生徒たちが心から楽しめるものになるよう取り組んでいきます。

～行事予定～

9月12日(木)、13日(金) 文化祭
11月7日(木) 体育祭
11月11日(月) 体育祭 予備日



クラブ活動報告

毎日、体育系・文芸系クラブ共放課後に楽しく活動しています。特に空手道部は毎年全国大会に出場しております。この1年間でも下記の戦績を残しています。

全国高等学校空手道選手権大会(令和5年8月)

・女子個人組手 1位 岡本 美羽
2位 上出 亜矢那
・女子団体組手 準優勝
・学校対抗(女子総合) 準優勝

全国高等学校空手道選抜大会(令和6年3月)

※40年連続40回目の出場

・女子個人組手 66kg級 野原 夕花 出場
・女子団体組手 ベスト16
・女子個人形 宇根田 季 出場

体育系クラブには空手道部以外ではバスケットボール、バドミントン、バレーボール、テニス、卓球、ダンスの各部があり、文芸系には美術、写真、家庭科、JRC、イラスト、軽音楽、茶道、華道、理科、競技かるた、書道の各部があります。時には、2つのクラブに同時に加入している生徒もあり、みんな和気あいあいと楽しく活動しています。



令和6年度華頂学園同窓会 趣味のサロン 参加者募集!!

秋季

【秋期開講日】 令和6年10月～令和7年3月の土曜日 全6回

【場所】 高校内の和室・視聴覚教室等で行います。

実施時間(各講座 午後2時～4時)	
《箏曲(生田流)》 和室(2F)	講習日 10/12・11/16・12/21・1/25・2/22・3/22 講師 昭34年卒 井元(吉井)優子氏 楽譜は数字の縦書きで、絃は十三本ですので、初心者の方でも触れば弾ける楽器です。 童謡から唱歌等楽しく弾けて、お箏を通じて色々な施設でボランティア活動を楽しんでみませんか。 お爪とお爪の輪(1,350円)はご購入下さい。
《かな書道》 視聴覚教室(2F)	講習日 10/5・11/2・12/7・1/11・2/1・3/1 講師 昭40年卒 森下 倫子氏(日展作家) 初心者大歓迎です。簡単な「かな書道」です。 懐かしい学校で1ヶ月に一度、仲間と共に筆で文字を書いてみませんか? お家にある「書道用具」などお持ち下さい。

・申し込み 華頂女子高等学校内 同窓会〈FAX 075-525-2522〉
9月20日(金)までをお願いします。

・受講料 1講座(6回)3千円 ゆうちょ銀行:口座番号 01010-1-81465 華頂学園同窓会
(振込用紙に「〇〇講座 希望」と明記して受講料を納入してください。)

初心者の方大歓迎。多数のご参加をお待ちしております。

< 入学試験に関するお知らせ >

【1次入試】

試験日	2月10日(月)
出願方法	1月17日(金)～24日(金) Web出願
試験科目	推薦専願 国語・数学・英語(各50分)・面接
	併願 国語・数学・英語・理科・社会(各50分)
受験料	20,000円

【ファミリー推薦】 ファミリー推薦受験の合格者は、入学金(90,000円)を免除します。

受験対象	学業・人物ともに優れ、成績において一定の条件を満たしていること。 入学後も勉学に励み、充実した学校生活を送る意志がある者。
推薦者	京都華頂大学・華頂短期大学・華頂女子中学校・華頂女子高等学校・華頂短期大学附属幼稚園・華頂 高等女学校等旧制諸学校を卒業・卒園、もしくは、在学・在園中の者の4親等以内の親族。

※事前申請が必要です。「ファミリー推薦出願確認書」を10月1日(火)～12月19日(木)までに提出してください。
(お問い合わせ 華頂女子高等学校入試部まで 電話:075-541-0391)

< イベント情報 >

- ・第3回オープンスクール 9月21日(土) 9:30～
- ・第1回入試説明会 10月26日(土) 9:30～、13:00～
- ・第2回入試説明会 11月30日(土) 13:30～

※個別進学相談会・個別入試相談会・キャンパス見学会も開催中！
詳細はHPをご覧ください。

学校の様子をHPやSNSでご覧いただけます！



LINE



Facebook



Instagram

目標の実現まで着実にサポート！

高大連携型進学指導

- ・3年生の12月中にほぼ全員が進学先を確保
- ・同一法人3大学(京都華頂大学・華頂短期大学・佛教大学)
高大連携協定校(京都ノートルダム女子大学・京都美術工芸大学)など有利な進路選択が可能
- ・1,000近くの指定校推薦

HPは
こちら！



<https://www.kacho.ed.jp>

< 希望する進路に合わせて2年生から選べる4つの履修コース >

教育・保育系 履修モデルコース

- ・子どもが好き
- ・幼稚園や保育園で働きたい
- ・教育業界に興味がある



教養系 履修モデルコース(幅広い文系)

- ・幅広く様々なことを学びたい
- ・学びながら自分のやりたいことを見つけたい
- ・応用力のある社会人を目指したい



メディア・情報系 履修モデルコース

- ・メディア、情報分野に興味がある
- ・学んだ情報の知識を
様々な分野に生かしたい
- ・創造力と表現力を身につけたい



理系 履修モデルコース(看護・栄養系)

- ・将来看護師として働きたい
- ・栄養の仕事に興味がある
- ・人のお世話をするのが好き

